



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

東証一部

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル
コード番号 4694

上場取引所

URL <http://www.bml.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員

(氏名)近藤 健介

(氏名)武部 憲尚

(TEL)03(3350)0111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	95,700	60.0	27,525	453.4	28,433	439.0	18,761	433.8
2021年3月期第2四半期	59,828	△3.4	4,973	△19.7	5,275	△17.8	3,514	△13.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 19,170百万円 (555.9%) 2021年3月期第2四半期 3,448百万円 (△20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	461.53	461.16
2021年3月期第2四半期	86.52	86.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	162,430	110,144	64.7
2021年3月期	139,174	93,123	63.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 105,115百万円 2021年3月期 88,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	50.00	70.00
2022年3月期	—	35.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	11.1	32,000	60.5	33,100	59.1	20,900	52.4	514.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期2Q	44,014,726株	2021年3月期	44,014,726株
2022年3月期2Q	3,353,302株	2021年3月期	3,367,662株
2022年3月期2Q	40,651,934株	2021年3月期2Q	40,627,973株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展もあり、段階的に経済活動が再開され、一部で持ち直しの動きがみられるものの個人消費の減少に加え企業活動が制限されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと受託臨床検査業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数は弱含みで推移しているものの、新型コロナウイルス関連検査の需要が伸張していることで市場規模は拡大しております。しかしながら同業他社との競争は続いており、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高95,700百万円（前年同期比60.0%増）、営業利益27,525百万円（前年同期比453.4%増）、経常利益28,433百万円（前年同期比439.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益18,761百万円（前年同期比433.8%増）となり売上高および利益ともに大幅に増加いたしました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、新規獲得を図るとともに、新規検査項目、独自検査項目、重点検査項目拡販などの深耕営業を実施し、業績の拡大を図りました。また、新型コロナウイルス関連検査も堅調に推移したことから、臨床検査事業の売上高は、前年同期比64.2%の増収となりました。なお、新型コロナウイルス関連検査に関して、新たに5本プール法PCR検査やゲノム解析の受託を開始しております。今後も様々な状況の変化に対応できるよう検査体制を整えてまいります。

食品検査事業につきましては、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、取引施設の営業自粛等が発生しており、食品コンサルティング、ノロウイルス検査等は厳しい状況にあります。しかしながら、前年同時期と比較して、持ち直しの動きもみられていることもあり、売上高は前年同期比13.2%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は前年同期比62.6%の増収となりました。

医療情報システム事業の売上高につきましては、新規販売において営業活動の制限を受けているもののオンライン資格確認の受注件数が増加したことや設置施設数の増加に伴い保守売上が堅調に推移したことにより前年同期比6.3%の増収となりました。なお、クラウド版電子カルテにつきましては、2022年4月にリリース予定です。

その他事業の売上高につきましては、調剤薬局事業で診療報酬改定(薬価)の引き下げの影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い外来患者数が減少した前年の反動を受け前年同期比4.9%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間期末の連結財政状態は、総資産162,430百万円（前期末比23,255百万円増）、純資産110,144百万円（前期末比17,020百万円増）、自己資本比率64.7%（前期末比1.2%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では流動資産で現金及び預金が14,788百万円、受取手形及び売掛金が6,225百万円、それぞれ増加しています。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が835百万円、未払法人税等が3,726百万円、それぞれ増加しています。純資産の部では利益剰余金が16,729百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ26,778百万円増加し、74,537百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、21,461百万円の資金収入（前年同期比18,280百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が22,883百万円の収入増、売掛債権の増減額（△は増加）が2,731百万円の支出増となったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,949百万円の資金支出（前年同期比2,045百万円支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1,509百万円増加し、定期預金の預入れによる支出が359百万円増加となったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,857百万円の資金支出（前年同期比1,091百万円支出増）となりました。これは主に配当金の支払額が1,016百万円増加となったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては2021年8月11日発表の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,478	78,267
受取手形及び売掛金	30,410	36,636
商品及び製品	324	492
仕掛品	691	841
原材料及び貯蔵品	3,018	3,427
その他	1,106	1,194
貸倒引当金	△80	△66
流動資産合計	98,950	120,792
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	30,685	31,811
有形固定資産合計	30,685	31,811
無形固定資産		
その他	3,807	3,875
無形固定資産合計	3,807	3,875
投資その他の資産		
その他	5,815	6,033
貸倒引当金	△83	△83
投資その他の資産合計	5,731	5,950
固定資産合計	40,224	41,637
資産合計	139,174	162,430
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,305	21,141
未払法人税等	5,756	9,482
賞与引当金	3,419	4,742
その他	10,926	11,296
流動負債合計	40,407	46,662
固定負債		
退職給付に係る負債	2,866	2,814
役員退職慰労引当金	246	213
その他	2,531	2,596
固定負債合計	5,644	5,623
負債合計	46,051	52,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,705	6,717
利益剰余金	81,220	97,950
自己株式	△6,651	△6,623
株主資本合計	87,320	104,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496	510
退職給付に係る調整累計額	560	514
その他の包括利益累計額合計	1,057	1,024
新株予約権	44	37
非支配株主持分	4,701	4,990
純資産合計	93,123	110,144
負債純資産合計	139,174	162,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	59,828	95,700
売上原価	38,431	49,339
売上総利益	21,397	46,360
販売費及び一般管理費	16,423	18,834
営業利益	4,973	27,525
営業外収益		
不動産賃貸料	30	30
補助金収入	8	699
その他	298	214
営業外収益合計	336	944
営業外費用		
支払利息	19	18
不動産賃貸原価	13	15
その他	1	3
営業外費用合計	35	37
経常利益	5,275	28,433
特別利益		
投資有価証券売却益	252	—
抱合せ株式消滅差益	—	20
その他	1	0
特別利益合計	254	20
特別損失		
固定資産除却損	25	21
減損損失	1	50
その他	3	0
特別損失合計	30	72
税金等調整前四半期純利益	5,498	28,381
法人税、住民税及び事業税	1,827	9,368
法人税等調整額	9	△189
法人税等合計	1,837	9,178
四半期純利益	3,660	19,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	441
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,514	18,761

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	3,660	19,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	13
退職給付に係る調整額	△14	△47
その他の包括利益合計	△212	△33
四半期包括利益	3,448	19,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,302	18,729
非支配株主に係る四半期包括利益	145	440

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,498	28,381
減価償却費	2,517	2,742
支払利息	19	18
補助金収入	△8	△699
減損損失	1	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△252	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,495	△6,226
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△509	△724
仕入債務の増減額 (△は減少)	875	834
賞与引当金の増減額 (△は減少)	145	1,321
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△91	383
その他	△234	364
小計	4,467	26,448
利息の支払額	△19	△18
法人税等の支払額	△1,471	△5,772
補助金の受取額	8	699
その他の収入	197	104
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,181	21,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,405	△2,764
定期預金の払戻による収入	2,135	2,659
有形固定資産の取得による支出	△1,552	△3,061
無形固定資産の取得による支出	△472	△702
その他	390	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,904	△3,949
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△687	△686
配当金の支払額	△1,015	△2,032
非支配株主への配当金の支払額	△144	△151
その他	81	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,766	△2,857
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△488	14,654
現金及び現金同等物の期首残高	48,246	59,853
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	28
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,758	74,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、当連結会計年度の利益剰余金期首残高に反映させるべき累積的影響もありません。

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. その他

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	22,588	37.8	24,970	26.1	10.5
	血液学的検査	4,718	7.9	5,271	5.5	11.7
	免疫学的検査	11,320	18.9	13,012	13.6	15.0
	微生物学的検査	3,092	5.2	3,176	3.3	2.7
	病理学的検査	3,841	6.4	4,400	4.6	14.6
	その他検査	9,665	16.1	39,864	41.7	312.4
	(臨床検査事業小計)	55,226	92.3	90,695	94.8	64.2
	その他検査事業	1,796	3.0	2,033	2.1	13.2
	検査事業小計	57,023	95.3	92,729	96.9	62.6
医療情報システム事業		2,100	3.5	2,231	2.3	6.3
その他事業		705	1.2	739	0.8	4.9
合計		59,828	100.0	95,700	100.0	60.0